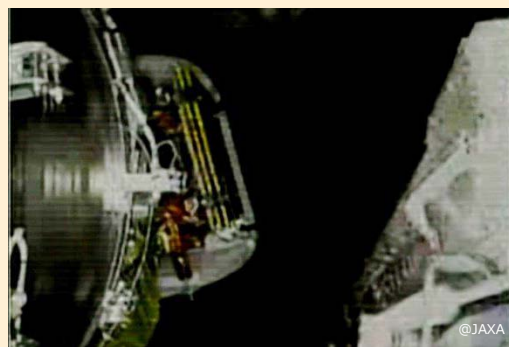


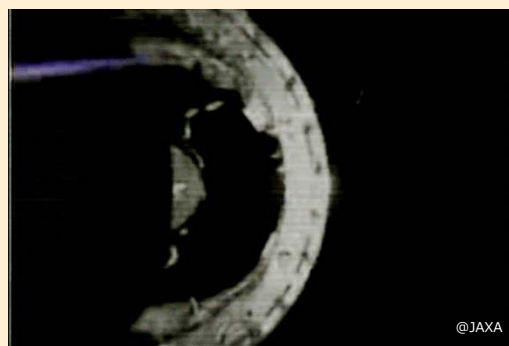
# イプシロンロケット3号機 打ち上げ成功！



イプシロンロケット3号機 打ち上げ



イプシロンロケット3号機 衛星フェアリング分離



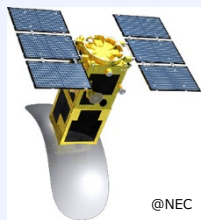
イプシロンロケット3号機 第1段/第2段分離

**2018年1月18日(木)午前6時6分11秒、JAXA内之浦宇宙空間観測所からASNARO-2を搭載したイプシロンロケット3号機が打ち上げられました。**

ロケットは正常に飛行し、打ち上げから約52分35秒後にASNARO-2を分離、予定通り太陽同期準回帰軌道への投入に成功しました。

## 高性能小型レーダ衛星「ASNARO-2」

ASNAROは、国際競争力を持つ高性能な小型地球観測衛星を開発する経済産業省のプログラムで、1号機にあたる光学衛星「ASNARO-1」は、2014年に打ち上げられ、現在運用中です。



©NEC

今回のASNARO-2は、衛星質量570kgと小型軽量ながら、地表の1mの物体を識別可能な高い観測能力を持ちます。宇宙からレーダーを照射することで、電波で雲を透過して地表の様子を観測します。

## 3号機には2点新たな機能が搭載

### ① 低衝撃型衛星分離機構

「低衝撃型衛星分離機構」を採用、爆薬を使わず機械的にバンドの結合を外すことで、エネルギーをゆっくり開放し、衛星が放出される際の衝撃を小さく抑えます。



衛星分離部 ©JAXA

### ② 液体推進システム (PBS)

第三段モータの上に小型の液体推進システム (PBS) を搭載することで、固体ロケットでは難しい精度の高い軌道投入の繊細な制御が可能となります。



PBS ©JAXA